

東京海上日動様の雪災新補償サービスの気象専門領域および配信部分を担当

I-レジリエンスでは、東京海上レジリエンス株式会社様および東京海上日動火災保険株式会社様が提供を開始する太陽光発電施設の雪災に対する新補償サービスにおいて、社会実装における気象専門領域および配信部分の役割を担当し、サービスの高付加価値化と社会実装の加速を支援してまいります。

背景

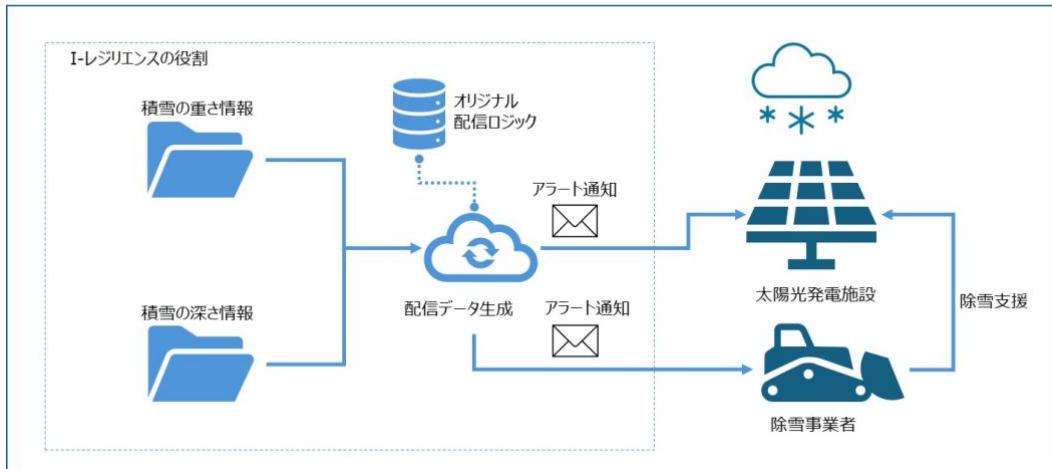
近年、全国的な気候変動の影響により、これまで比較的降雪の少なかった地域でも積雪が見られるようになり、太陽光発電設備への影響も拡大しています。特に、パネル上への着雪や凍結による発電効率の低下、さらにはパネル上もしくはパネル下の積雪による機器損壊といったリスクが顕在化しています。

再生可能エネルギーの普及が進む一方で、こうした気象リスクへの対応は十分に整備されておらず、適切な監視や対策支援のニーズが高まっています。このような背景のもと、I-レジリエンスでは積雪の深さだけでなく、積雪の重さに着眼したリスクを可視化し、発電事業者の安定稼働を支援する新たなサービスの提供に関して積極的な役割を担ってまいりたいと考えております。

I-レジリエンスの役割

東京海上日動火災保険様がご提供する雪災の新補償サービスにおいて、当社は積雪アラートサービスの「積雪データ生成」および「アラート配信」部分を担当いたします。積雪情報については、国立研究開発法人防災科学技術研究所の積雪重量情報をもとに、各太陽光発電事業者様のサイト毎の積雪情報を計算し除雪等のご判断にご活用いただきます。

東京海上日動火災保険様 雪災害新補償サービス概念図



I-レジリエンス株式会社について

I-レジリエンスは、新たな防災・減災サービスを提供する会社として防災科学技術研究所と民間企業4社の合同出資により設立されました。レジリエントDX・レジリエントライフを主な事業とし、防災科学技術研究所やその他の学術研究機関が持つ研究開発成果や知見、ビッグデータを活用し、事業者や生活者のニーズに応じた様々なソリューションを提供していきます。上記の事業の柱の具現化のひとつとして、防災情報サービスプラットフォームである「I-Resilience Information Network : IRIN」を活用し、様々な気象・防災情報に加えて、具体的な社会課題やニーズに対応したソリューション型情報提供を推進しています。

URL : <https://www.i-resilience.co.jp/>

以上

<お問い合わせ先>

I-レジリエンス株式会社 広報担当 MAIL : info@i-resilience.co.jp